

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズすてっぷさせぼ(児童発達支援)		公表日 2025年 1月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・自由に遊べる部屋と、机上活動に取り組み部屋に分ける事ができる為、適切な広さであるが、さらに細やかな支援の際には仕切りなど使う工夫をしている。	・大きく体を動かす活動の際は、場所を随時検討していく。(粗大運動、遊具遊びなど) ・パーティションなど必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・現在いるスタッフで、できる活動を提案しながら、こども達の満足できる事業所を目指したい。	・必要なスタッフの配置はできているが、5領域を組み込む支援や、専門的支援実施を行うなど、充実した支援を実施していく為には、ゆとりあるスタッフの配置は課題である。(定着した福祉スタッフの人材の確保や育成)
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	5	・階段がある為、滑り止めなどを敷くなどの工夫はしている。 ・構造上やむを得ない為、手すりを使用したり、スタッフが誘導している。	・滑り止めの強化を検討。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・利用後は、掃除、消毒作業は丁寧にやっている。換気においても、できる限り行っており、感染対策も行っている。	・すべての玩具消毒においては、時間を要する為、どのように対応していくかは、課題である。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	5	・どの部屋も自由に行き来できる場所ではない為、こどもの様子、気持ちを聞きながら、使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・昨年同様、支援内容、業務内容においては、PDCAサイクルを念頭におき、設定を見直し、振り返りを行っている。	・非常勤スタッフへの申し送りなどは、どのようにしていくか、課題である。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・年に一度、保護者様に協力を頂き、アンケートを実施している。意向を受け止めながら、改善できる工夫をしていきたい。	・結果をスタッフ全員で周知できるようにする。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・ミーティングを行い、意見交換を行ったり、案を出し合いながら、進めている。	・毎月議題をもとに会議を行える日があると良い為、全員の出勤日を設けるなどして、今後調整などしていけると良い。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		・会社としては行っていないが、必要に応じて検討課題である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・研修の議題を確認しながら、必要に応じて参加している。	・今後も引き続き、学べる機会を積極的に作っていきながら、進めていきたい。 ・ズーム研修は比較的多くのスタッフが受けやすい為、今後も情報収集していきたい。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・活動内容においては、保護者様に分かりやすいように、案内をしている。	・義務化となっている公表内容においては、現在、見直しの段階である。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・アセスメントの用紙は、法人で統一したものとなった為、やりやすくなった。	・保護者様と事業所の課題をすり合わせながら、進めていく事は大切である為、念頭におきながら進めていきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・個別支援会議では、できるだけ多くのスタッフに参加してもらうようにしている。また、参加できなかったスタッフに申し送りをしていながら、全員周知をできるようにしている。	・非常勤スタッフへの申し送りは、どのようにしていくか課題である。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・個別支援会議で周知や把握していきながら、共有している。 ・日ごろのミーティングで打ち合わせなど行っている。	・非常勤スタッフにおいては、細やかな申し送りなど課題である。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	5	・各種、検査結果等を参考にしながら、発達の様子を考慮しつつ、実態把握をするようにしている。 ・アセスメント、日々の記録をもとにどのような状況か、確認するようにしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	・ガイドラインに沿った計画作成に努めている。	・ガイドラインの内容を、スタッフに周知できるようにする。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・2人1組になり、プログラムを提案している。その土台を元に、意見を取り入れながら、活動を進めるようにしている。	・意見交換できる、話の場の充実。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・今年度より、「健康、生活」「運動、感覚」「認知、行動」「言語、コミュニケーション」「人間関係、社会性」5領域を意識しながら、固定化しないようにしている。	・こども達が提案した内容なども、今後、組み込んでいけると良い。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個別活動、集団活動に加えて、今年度より、専門的支援実施を行っている。ニーズに合わせて、取り組みを進めていけると良い。	・活動内容の情報収集は必要。情報収集をしながら、こども達が楽しめる活動に繋げていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・内容の確認、こどもの見守り、役割などを確認し合いながら進めている。	・話を聞く、実行する、ルールに沿って、友達と楽しむ経験などに繋げていくには、やはり、手あついスタッフのフォローやサポートは必要。スタッフの人材確保や育成なども大切にしていきたい。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・支援の振り返りは翌日に時間を作り話している。 ・司会から見た視点、こどもの見守りから見た視点など、振り返りを行いながら、次回に繋げていくようにしている。	・スタッフ全員にどのように周知していくか課題。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・記録においては、状況、様子、働きかけ、対応なども記入するようにしている。	・良い支援、良い記録は、今後も課題。
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・必要な時期に、モニタリングを行い、支援の方向性を見直すようにしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・主に児童発達支援管理責任者が参加しているが、経験あるスタッフの参加をしていながら、支援の内容を一緒に考えていく事も行っている。	・児童発達支援管理責任者の育成も含め、経験あるスタッフの参加も進めていきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	5	・保険、医療との連携はしっかりと行っていないのが現状。まずは、学校や園、相談支援事業所との連携の第一歩を心がけている。	・地域の保健、医療との連携方法をどのようにしていくか課題。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	・移行支援を意識しながら、まずは、園の先生と情報共有できる場を心がけている。	・今後支援内容を詳しく共有していく事は課題。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	5	・現在は園訪問を通して、情報を共有できる機会を作っている。今後就学後の、繋げる支援を心がけていきたい。	・学校や園の協力も必要となってくる為、どのように連携をとっていくかは、今後も課題。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7		・どのように連携をとっていったら良いか、情報収集中。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	・地域との交流はここ数年は課題であり、今年度より、児童館での行事に参加させて頂いたり、児童館の先生をご招待した活動なども取り入れていた。 ・他事業所との交流も、子ども達がとても楽しみにして参加できており、初対面の人への挨拶や礼儀、マナーなど自然と知る良い機会であったように感じる。	・同年齢の交流は、保護者様も楽しみにしている活動でもある為、必要に応じて取り入れていけると良い。 ・交流においては、保護者様のニーズもある為、確認をしながら進めていけると良い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	2	・送迎の場面だけでは、難しい面もある為、モニタリングの時期や必要に応じて伝える場面を作っている。	・今年度新設されている、家族支援加算を保護者様にお知らせしていきながら、保護者様が気兼ねなく話せる場に繋げていけると良い。

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	・現在、研修に参加しながら、学びの途中。何か役立つ内容などあれば、保護者様と情報共有していきたい。	・情報収集しながら、研修に参加していく機会を作っていく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・利用開始前に、説明している。	・利用開始前には、説明を行っているが、何年か通って下さっている方への説明は、今後課題である。 ・再度、説明が必要な方を確認しながら、進めていけると良い。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・個別支援計画の案が必須となっており、意向の聞きながら、案をもとに希望などを再確認している。	・書類面が多くなってきている為、保護者様に説明できる時間を確保していきたいと良い。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・項目なども多くなっている為、ひとつずつ説明しながら進めている。	・説明をする時間、場所はどのように確保していくか。保護者様のニーズを聞きながら、検討は必要。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	3	・送迎の際にお話しする事が多くなっており、改めて、時間を作って面談など行っていない。	・説明をする時間、場所はどのように確保していくか。保護者様のニーズをお聞きしながら、検討は必要。 ・今年度より新設された加算を活用させて頂き、保護者様が気兼ねなく、話せる場を作っていけると良い。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	・現在は行っていない。	・ニーズ様々であり、保護者様の意向をお聞きしながら、進めていきたい。 ・まずは、事業所間で、どんな交流ができるか、必要かどうか等検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	3	・相談などや申し入れにおいては、対応は行っているが、体制の整備、保護者様に周知は、現在はしっかりと行っていない。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	・おたよりの紙面方法から、ブログのホームページ、ラインなどを通して活動概要や、行事予定などを発信している。	・新規の利用者様には、全て案内ができない場合もある為、適切なタイミングで、しっかりと周知できるようにしていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・施錠を行い、確認を行っている。	・セコムなど導入すると、より安心したものになるのではないかとと思われるが、現状は難しい。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・聴覚に障害のある子どもにおいては、周囲の子どもや大人も意識できるような活動を取り入れている。(手話、指文字など)	・分かりやすい視覚支援は、どのような場面で必要か、スタッフ間で再度共通認識が必要。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・事業所の行事に招待する事はなかったが、児童館の先生を事業所に招待させて頂き、事業所の子ども達と、一緒に活動をする機会を作った。	・地域の方からの理解、協力も必要な時もあると感じる為、どのような形で進めていくかは課題。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	4	・作成は行っているが、周知までは完全にできていない。	・どのように周知していくか、事業所間で話し、今年度中には周知できるようにする。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・今年度より義務化されている。災害用の備品も準備をしている。 ・色々な案を出し合い、訓練を行っている。	・どんな訓練方法なのか、備蓄においては、どこまで必要か、確認が必要。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・病院で処方された薬に関しては、服薬依頼書にご記入を頂き、服薬を行っている。	・服薬においては、個人の用紙はあるが、予防接種、てんかん発作(事例はない)において、把握する様式など、検討は必要。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	5		・現在、対象の方はおられません。今後対象の方がおられる場合は、医師の指示書等確認をしていきたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	・安全計画を作成して、内容に応じて点検訓練を実施している。	・内容など、再度スタッフへ周知、研修は必要。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		7	・安全計画マニュアルは作成しているが、しっかりと周知は行っていない。	・今年度中には、周知できるようにする。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハットを作成して、翌日に振り返るようにしている。	・会議などで、過去の事例を振り返り、再度注意していく事は必要。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・研修は、順番に参加するようにしている。研修後、スタッフへの周知も行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・現在、対象の方はおられない。		